

ことわざ

に
二度あることは
三度ある



二度あることは
三度ある
同じようなことが二度続けて
あったときは、続けてもう一度
起こるものである。物事は、往々にして
繰り返されるものである。



に
二兎追うものは
一兎をも得ず



二兎追うものは
一兎をも得ず
同時に二つの物事をしようとするど、
二つとも成功しない。



ぬ
糠に釘



糠に釘
柔らかい糠に釘を打つように、
手応えがなく、跡が目がないことの喩え。



ぬ
濡れ手で粟



濡れ手で粟
濡れた手で粟を握むと、粟粒が
たくさん付いてくることから、
骨を折らないで利益を得ること、
少ない労力で得るものが多いこと。



ね
猫に小判



猫に小判
どんな貴重なものでも、その価値が
分からない者に与えては、
何の役に立たない。



ね
猫の手も
借りたい



猫の手も
借りたい
非常に忙しく、働き手が
不足している様子の喩え。



の
残り物には
福がある



残り物には
福がある
人が取り残して最後に残った物には、
思わぬ利益がある。人に先を譲れば、
却って、自分に福徳があるものである。



の
喉元過ぎれば
熱さを忘れる



喉元過ぎれば
熱さを忘れる
熱いものも飲み込んでしまえば、
熱かったことを忘れてしまうことから、
苦しいことも、それが過ぎると簡単に
忘れてしまうことの喩え。


